

2008春季生活闘争

J R 連合 F A X ニュース

29

2008年 2月29日

日本鉄道労働組合連合会

## JR東海ユニオン 第2.3.4回団交開催」

JR東海ユニオンは、第2回(2/21)、第3回(2/26)、第4回(2/27)の団体交渉を開催した。

### 第2回団交では、ベア要求の根拠を主張!!

「純ベア 3,000 円」「夏季手当 3.1 ヶ月」及び「制度政策要求」などの要求根拠について主張し、議論を展開した。また、08春闘を取り巻く環境については、景気の先行き不透明感が懸念されるなど厳しい状況にある。しかし、JR東海の業績は、JR東海ユニオン組合員の努力に支えられ、好調に推移している。組合員の汗と労苦に応えるよう強く求めた。

会社側は、「現在の堅調な業績を踏まえて賃金引上げを、という主張があったが、業績連動型の賃金としてしまうと、業績が悪化した場合は賃下げの議論も当然出てくることになる。よって、足元のも業績だけを見た、月例賃金の大幅な増額は、難しいものとする。」との見解を明らかにした。

なお、団交の詳細については別紙を参照されたい。(2008春闘情報 5)

### 第3回団交では、賃上げの必要性を主張!! 満額回答を求める!!

JR東海の賃金は、この間の労使の努力により改善されたが、さらに「働く意欲の向上」をめざした賃金支給を求めていくには、「ベースアップ」は不可欠である。「ベア満額回答以外にあり得ない」と強く求めた。

なお、団交の詳細については別紙を参照されたい。(2008春闘情報 6)

### 第4回団交では、労働時間管理の適正化、諸労働条件の改善を主張!!

依然としてサービス残業や持ち帰り残業、さらには休日に出勤する等の事象が散見される。改めて「労働時間管理の適正化」については是正と指導の徹底を強く求めた。

また、「働く女性の支援」として、出産・育児に関わる労働条件の改善、専任社員制度の更なるブラッシュアップ、契約社員・臨時社員の労働条件の改善を強く求めた。